

THE  
TRADITIONS  
OF  
RYUKOKU II

法学の「法」は仏法の「達磨」に通じる

龍大伝説を語る  
II



深草キャンパス(1968年頃)

## 宗門の開放—総合大学へのあゆみ

—最初は文学部だけでやってきた龍谷大学ですが、瀬田の理工学部や社会学部の開学によって、いよいよ本格的な総合大学としてあゆみははじめました。

龍谷大学が総合大学路線へ移行するのは、いつごろからだったのでしょうか。

●北畠 昭和33年に増山顕珠学長が就任されます。そのあと拡大政策が決定する。経済学部ができることになって、出発したわけですね。単科大学ではなくなり、総合大学の新しい方向をめざすことになる。

経済学部ができたのが昭和36年ですが、仏教系の大学では、約10年早く、駒沢大学が総合大学の方向をたどっていました。

旧制の時代からの仏教系6大学(龍谷・大谷・高野山・駒沢・大正・立正)のなかでは、たえず龍大が時代の先端をきってきた。しかし戦後、総合大学へのスタートは、駒沢大学におくれをとった。悔しかったですね。

やがて千葉学長の時代に理工学部と社会学部の増設が決定して、瀬田学舎が発足しました。龍大が、6大学で最初に理工系の学部を設けて、ふたたび仏教系6大学をリードした。戦後のおくれをとりもどしたことは、龍大出身者の私としては大きな誇りですね。

理工学部ができたことは、いろいろな意味で文科系の学部との相乗効果をうんだと思います。理工学部を設置した意味は大きいですよ。入学志望の学生がぐっと増えたのもその一つの現れでしょう。

—宗門の開放をめざして、まず経済学部をつくるわけですね。

●北畠 そうです。

しかし文学部には寺院子弟が多いのに対して、経済学部にはたいへん少ない。そのために、大宮と同じかたちで建学の精神が受け継がれるかという点については、危惧を抱かざるをえなかったのですね。

だからといって、拡大することがいけないことではないわけですよ。新学部には幾百人かの新入生を迎えて、そのなかで5人でも10人でも、仏教に関心を持ち、浄土真宗の精神を学んでくださる人がいれば、これはたいへん尊いことです。

親鸞聖人七百回大遠忌の記念に経済学部をつくろうというときの趣旨は、浄土真宗の精神をもった産業人を育成したいという願いからでした。

浄土真宗の、開かれた宗門の一環であるという考えで、龍谷大学を開放したわけですね。

その開放路線で、経済学部の中の1学科であった経営学科が、昭和41年に経営学部として独立する。そういう経過をたどるわけです。

### 法学部の創立

●北畠 そののち、もう一つ学部を増やそうではないかという話が出たときに、社会学部をつくってはどうかという話が真剣に討議されました。

法学部ができる直前に私は、当時の佐藤哲英学監から私的に依頼を受けて「通信教育を龍谷大学でやってみたらどうだろう」という

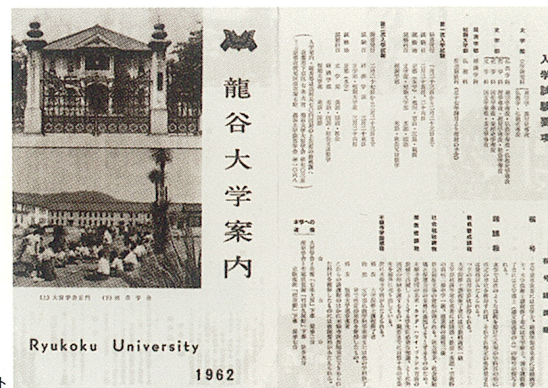
案について調査を行いました。東京では、早稲田が慶応が通信教育をもっていたし、京都では佛教大学がその先鞭をつけていました。「龍谷大学の現在の教職員の意識ではたいへん困難だと思う」という結論を、私なりに当局へ出しました。「君がそういうなら無理だろうな」ということで、その話はたちぎえになった。辞令もありませんでしたが、調査の任にあたったことは事実です。

一方では、社会学部が真剣に討議されたはずですよ。

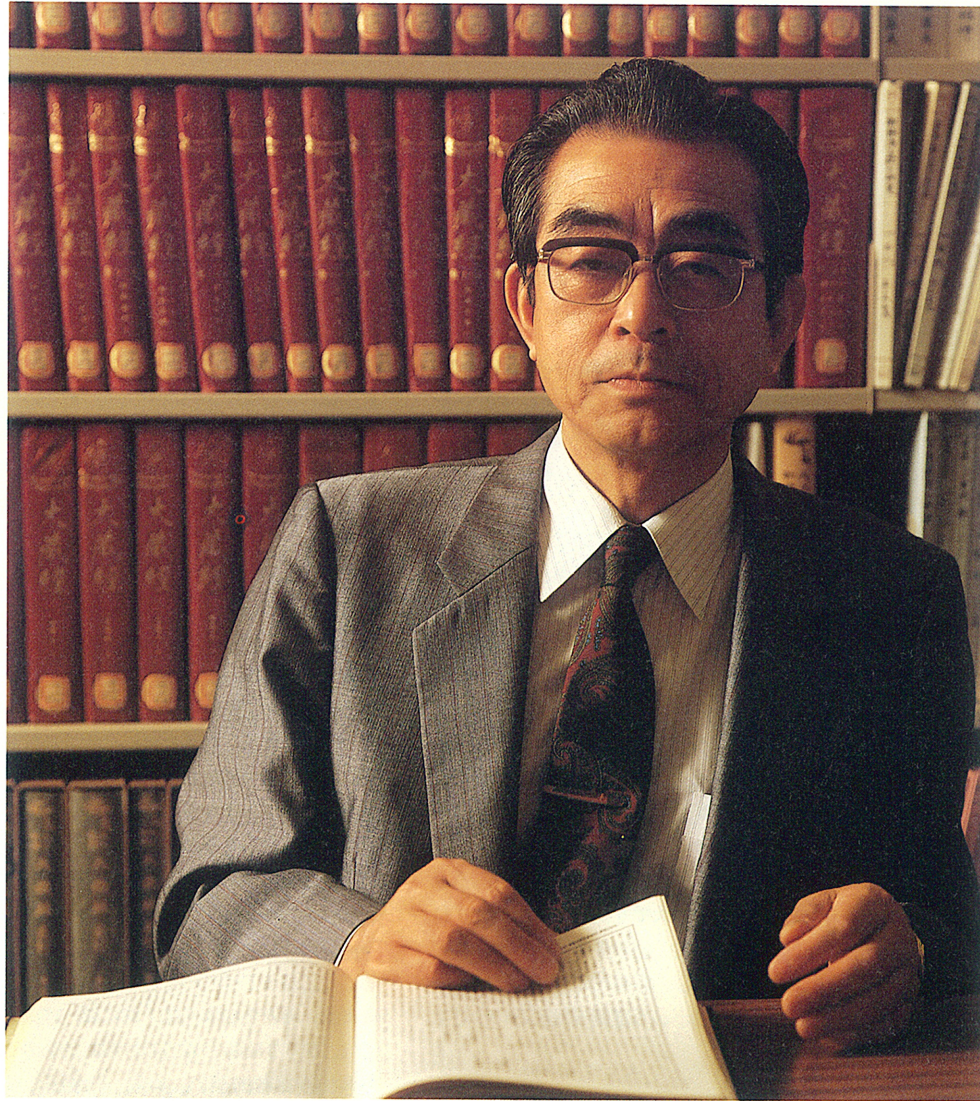
しかし時代の要請に応じたかたちで法学部創設の運びになった。星野元豊学長のお考えが強かったのではないかと思いますね。経営学科を経営学部へ昇格させる段階で星野先生は、将来は法学部をつくるという前提らしきものをおいて、スタッフをそろえ、経営学部のスタートを考えられたと思います。法学部は、創設当初から意気さかんな教授陣をそろえていましたからね。

—しかし社会学部ではなく、法学部ができることになってゆくのですね。

●北畠 私どもの年代の人間には、経済・経営は、文学部とはかなりかけ離れたものという意識が比較的強い。将来、21世紀に向けて、十分な人材を養成するためにも、文学部にも近い、それでいてまた文学部とちがう領域である法学部が必要なのではないかと。法学部は社会科学の分野ですから経済、経営に近いけれども、ある意味では、文学部と似たところがある。問題意識の持ち方や、焦点がよく似ているんですね。戦後の新制大学がで



1962年の大学案内パンフレット



龍谷大学文学部長 本願寺派勸学 北畠 典生 氏

たときにも、「法文学部」という名称の学部が  
国公立に多かったですからね。

#### 法学の基本に達磨がある

●北畠 私は素人なりに思うのですが、法律  
の法というのは仏教の法と通じる。

仏教というのは新しい言い方であって、明  
治以前ぐらいまでは仏法なんです。その法  
とは達磨。達磨の意味は、真実の道理、真理  
ですね。客観的な普遍妥当性、あるいは論理  
的な必然性があるということが、真理とい  
うものの概念ですね。それはたいへん抽象的  
なものですけれども、達磨(法)を釈尊が自覚  
することによって悟りを開いた。その客観的  
な真理を釈尊が主体化することによって、い  
わばその真理を自覚した。その真理は、客観  
的な普遍妥当性をもっています。

法学というものも、本来そうじゃあないで  
すか。それを現実の社会のなかでどう対応さ  
せ、どう機能させるか。人間らしい幸福を追  
求するときに、社会ルールのをうでどうあら  
ねばならないかということでしょう。

だから私は、法学というのは、抽象的には  
真理の追求の場であると思う。同時に、きわ  
めて良識的で常識的なものが法律のもとにな  
きゃならんのではないかと思っているんです  
ね。

良識というものをどう扱うか、問題はあり  
ますけれども、いわば人間としての当然の考  
え方とか、当然の生き方ですね。自分の幸  
せ、社会の幸せ、多くの人たち全体の幸せ、  
そういうものを考えてゆくのが良識でしょう。

その累積が法律、法学だと私は思っています  
から。だから正義や秩序が問題になるのでし  
ょう。

仏教だって、何もことあらためて変わった  
ことをいっているわけじゃあないし、独断が  
あるわけでもない。真実の道理であるべきこ  
とを、「真実の道理なんですよ」といっている  
わけですね。

そういう意味では、法学の基本に達磨、仏  
教という法によく似たところがあると思うん  
ですけれどもね。

#### 法学部創設直後の試練

——法学部ができたあと、すぐに学園紛争に  
突入しますね。

●北畠 創設が昭和43年。そして昭和44年、  
45年と紛争が始まる。法学部はたいへんでし  
たよ。

深草は封鎖されたので授業ができない。大  
宮も封鎖されて授業ができなくなったことが  
あります。

本願寺の阿彌陀堂、本堂に、ヘルメットを  
かぶった全共闘系の学生が土足で乱入したの  
は、世の中を驚かせた、大きな事件でしたね。

これは法学部ができて間もなくですから、  
そういう意味では法学部の設置当初からいろ  
いろな学内の問題、あるいは学外情勢は、め  
まぐるしく動いていた。

私は昭和45年4月から学生部長という立  
場で、毎日、学生との折衝におわれました。

しかし学生が提起していた問題は、じつは  
われわれ自身も問いなおさなければならない

問題であったと思います。学生が極端な現実  
否定から、乱暴、狼藉を働いた部分もあつた  
けれども、戦後、新制大学に切りかわって安  
閑としていた大学に、警鐘をうちならした点  
では、まったく無意味であったとはいえない。  
少し犠牲は大きすぎましたけれども。

この紛争の前までの大学は、「象牙の塔」式  
の研究がおもで、研究を通じてその成果を教  
育の場で働かせればよいという流れでした。  
大学で「教育」なんてことをいうのは恥ずか  
しかった。

紛争を契機に、研究のあとにかならず教育  
がつくようになった。

こんにちでは、むしろ教育が先じゃあない  
ですか。よくいえばそれだけ大衆化している。  
社会のニーズに大学が合わせてきたともいえ  
るわけですね。

#### 自由な雰囲気の中かで 伸び伸びとまなぶ

——龍大で学び、龍大で教えてこられた先生  
からみた、龍大の学生気質についてひと言。

●北畠 私どもの学生時代は、お寺なるがゆ  
えに龍大にこざるをえないといって、三高に  
合格していながら龍大の予科にきた連中が、  
毎年、何人かいた。

三高から語学を教えにきていた講師の先生  
方から、励ましのつもりかどうかわかりませ  
んが、「ここには素晴らしい学生がいる」と聞  
かされた。それは1割か2割の学生だと思  
います。また飛び抜けてはいないが、そこそ  
こできる学生が、ほかの大学にくらべて多い。

できる者はどんどん勉強する。脱落する者もいるけれども、それがけしからんというわけでもなく、みんなで仲よくやってきた。

そういう意味で、龍大には自由な雰囲気がありますよ。これは私は、龍大の伝統だと思っています。

学生時代もそう感じましたし、教員の立場から見てもそうですね。

あれをやってはいかん、これをやってはいかんとは言わない大学ですものね。先生方も自由に研究できるし、学生も本当に自由に伸び伸びした雰囲気でしょう。

たしかに宗門立学校という特異性はありますが、そう昔のように宗門からの厳しい規制や干渉があるようなことはない。援助されることはあってもね。

#### 安居の伝統と宗門の開教 バランスを大切にしてきた大学

——宗門開放路線の一方で、ずうっと続いてきた安居(あんご)がありますね。

●北畠 現在は、7月17日から30日まで2週間。毎朝7時半から、講義や論議(討論会)が、日曜も土曜も関係なしに、毎日行われます。

いまは学階という学問的な階級をもった人のために開かれています。

学問をする僧侶が、年に1回ずつ本山へ集まって、そこで仏教、真宗の教えを研鑽する。これがいまから354年前に西本願寺のごく近くで開かれていたんですね。

それが龍大の発祥です。ながいときは、3カ

月間もあった時期があるんですけどもね。時代によって期間はちがうようです。

354年前に始まって、それを龍大の設立の年と見ているわけです。

——安居が「学寮」、「学林」という形になり、いまの龍谷大学につながるんですね。

●北畠 そうです。安居を無視して龍谷大学の350年は成り立たないわけです。

安居は明治12年以降、大宮学舎の本館で行われています。

学階の所有者は、浄土真宗の本願寺派の僧侶に限られています。だから信仰の問題とか教義の問題が重視されるんですね。

龍大のルーツは安居。そして時代、社会の要請に応じて、組織がどんどん変革されてくるわけですね。そして「大教校」時代とか、「学林」とかいろいろな時代、制度がありまして、仏教大学といわれて近代化して行く。

——龍大以外にも安居はあるんですか。

●北畠 大谷大学などにもあるんですが、組織、宗門内での位置づけ、講師など、いろいろな点でちがいがあってね。

龍大の安居では、勸学という学階の人が本講師をつとめる。司教という学階の人が、副講師(ふくこうじゃ)2人と典議(てんぎ・討論会の司会の役割)をつとめる。その4人の総指揮、監督者というか、責任者を総理と呼ぶんですね。これも勸学の人がその任にあたる。

そして安心(あんじん)論題と教義論題について討議をしたあと、本講師が結論を出す形をとるわけです。

その結論は、ご門主の判断と同じ意味とい

うか価値をもつとされています。

そういうことから考えても、安居の宗門内における位置づけが、非常に高いところにあるんですね。

したがって宗派における学問的な、もっとも伝統と権威のある講会(こうえ・学習の場)といえるんじゃないでしょうか。

——それほど安居を高く位置づけている龍大はやはり宗門の大学なんですか。

●北畠 二つの大きな流れとして考えられると思いますね。

一つは、安居を抜きにしては語れない、宗門の大学としての龍大です。

しかし一方で、それぞれの時代の社会のニーズにあわせて、またはその制度をいち早く採り入れて、明治の初期から一般の科目も開設して、大学を開放してきたわけですね。

単科大学でなくなるタイミングとしては、他の宗門立の大学に遅れをとった時期がありましたけれども、理工学部という理工系の学部をつくった時点で、他の宗門立の大学に先駆けて堂々たる総合大学としてスタートをきることができました。

しかし、いまも安居の伝統が重要な位置づけをもちながら継承されているように、宗門立の大学である伝統も大切に守られている。

この両方をバランスよく進展させていくことは、けっして矛盾することでもない。龍大ほど、この両方を大切にしてきた大学は少ないんじゃないでしょうか。

そうしてきたからこそ、胸をはって350年の歴史を語るができるわけです。



大宮学舎本館での安居風景(1989年)







20年の歴史を刻む龍谷大学法学部同窓会。

時代とともに歩んできたその足跡を数々のデータと合わせて紹介します。

そして、この残された数字は過去を振り返るだけのものではなく、大いなる未来への指針として――。



# THE COURSE OF HISTORY

## I 1968

## II 1969



龍谷法学

## RYUKOKU UNIV.

法学部設立、文科系総合大学として新たなスタート。硬式野球部が関西六大学春季リーグ戦で優勝。京都市内をオープンカーを先頭にパレードした。城陽寮、深草学舎15号館が竣工し、8号館が失火により消失した。そして昭和44年。学生達はポール・ニザンの言葉を次のように読み変えた。「選択は限られている。時代に裏切られるか、時代を裏切るかのどちらかだ」。7月に行なわれた羽仁五郎氏の講演と相前後して学園紛争が巻き起こる。パトカー襲撃事件が起こり、全共闘が六項目の公開質問状を提出し、大衆団交を要求。龍大生約二千人が学長僧籍必要論をめくり西本願寺へデモ。その一部が西本願寺御影堂に乱入。深草学舎で大衆団交が行なわれ、深草学舎を50日にわたり封鎖した。

- 1968 龍谷祭のテーマ〈はばたけ未来へ〉  
降誕会のテーマ〈祖師に聞く〉  
1969 龍谷祭のテーマ〈日新又日新〉  
降誕会のテーマ〈祖師に帰れ〉

## LAW ALUMNI ASSN.,

法学部第1回入学試験実施、志願者2,439名。浅井清信教授が初代法学部長に就任。法学部事務室・法学部資料室開設、菊池達真氏事務長に就任。法学部開設と同じくして「龍谷大学法学会」創立。以降、法学部講演会・龍谷法学発行など、研究活動を開始。第1回講演会の統一テーマは「龍大法学部が目指すもの」法学部のめざす学生像・杉本幹夫講師、法学部のめざす未来像・浅井清信教授の両師の黎明の時にふさわしい講演で幕が開けた。また、現実の法律問題に接し生の法律学を学ぼうという教員や学生によって、無料法律相談所が開設され、京都を中心に活動が展開された。昭和44年10月に日本労働法学会の当番校となる。

学園紛争による学舎封鎖



## HEAD LINES OF 1968

### DOMESTIC

- ①東大など全国各地で学園紛争相次ぐ
- ②札幌医大で日本初の心臓移植手術
- ③川端康成氏ノーベル文学賞受賞
- ④岐阜県白川町で飛騨川バス転落惨事
- ⑤国際反戦デー新宿駅デモに騒乱罪

### OVERSEAS

- ①ソ連・東欧軍チェコに侵入
- ②ベトナム和平交渉開始と北爆停止
- ③ニクソン当選、8年ぶりに米共和党政権
- ④ゴールドラッシュと国際通貨危機
- ⑤ロバート・ケネディ上院議員暗殺される

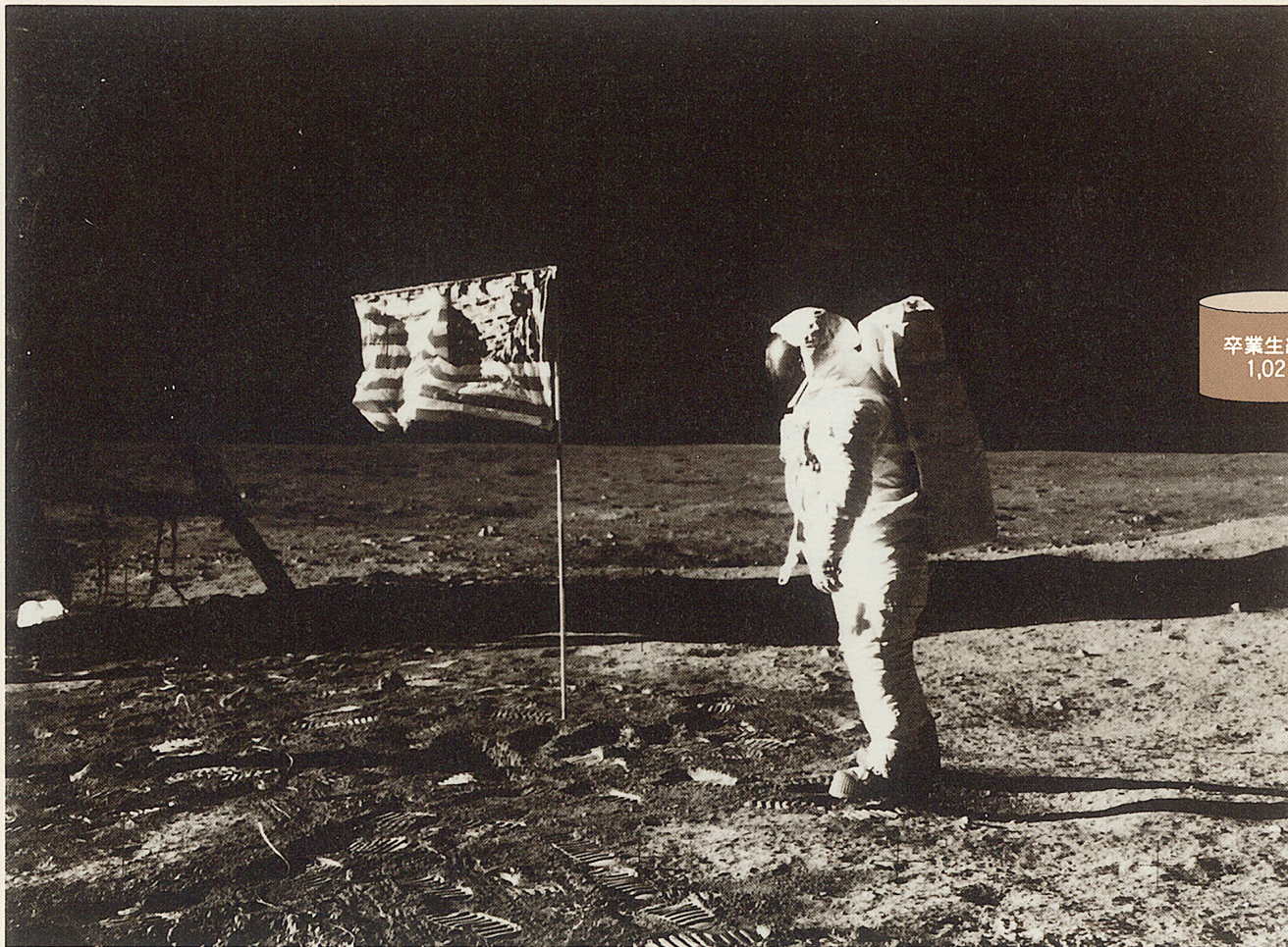
## HEAD LINES OF 1969

### DOMESTIC

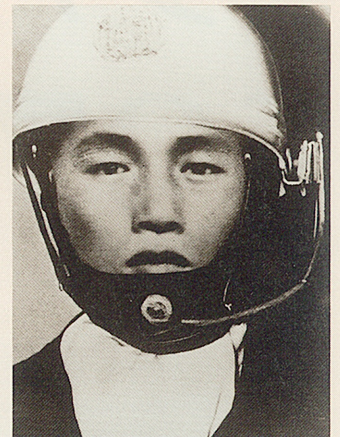
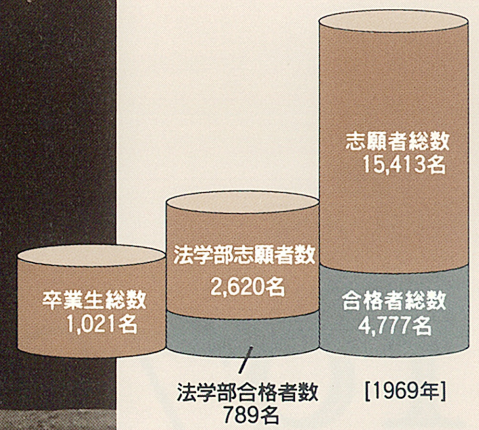
- ①佐藤・ニクソン会談で72年に沖縄返還
- ②70年代への選択、年末総選挙
- ③大学立法成立、学園紛争が沈静化
- ④70年前年の安保闘争、新左翼の台頭
- ⑤交通事故死傷者百万人へ

### OVERSEAS

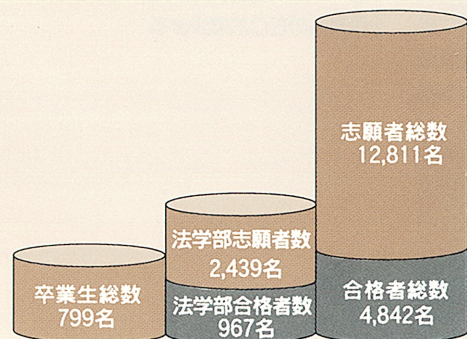
- ①米アポロ11号、人類初の月着陸
- ②米、南ベトナムから段階的撤退開始
- ③中国九全大会。毛主席後継者に林彪氏指名
- ④フラン切り下げ、マルク切り上げ
- ⑤ホー・チ・ミン北ベトナム大統領死去



米アポロ11号月面に着陸、人類月に立つ



三億円事件起こる



[1968年]



野球部、関西六大学春季リーグ戦優勝



深草学舎15号館

# THE COURSE OF HISTORY

# I 1970

# I 1971



深草学舎17号館

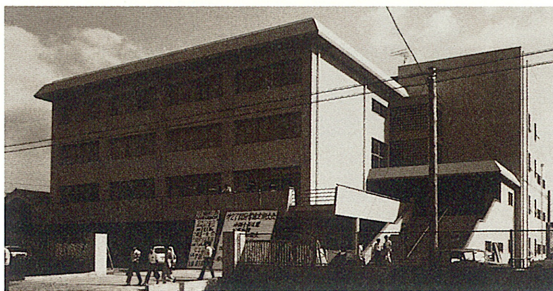
## RYUKOKU UNIV.

学園紛争が下火に。しかし、その爪痕を記すかのように学長不在。この間、坂本慶一、二葉憲香、武邑尚邦、川崎恵璋、遊亀教授の五氏が学長代行を務め、学部長選挙に学生参加方式になる。そして、学舎の建設ラッシュ。深草学舎17号館、大宮学舎東翼、西浦女子寮、大学全体のうるおいとくつろぎの“ひろば”として会議室・学館大ホール・購買店・食堂・喫茶室などが設けられた学友会館が順に竣工した。さらに昭和46年、アメリカ軍のキャンプ施設跡に体育館が完成。これにより、龍大の居心地が格段に良くなり、大学の姿を整えつつあった。昭和45年「社会科学研究年報」創刊。第23回朝日レガッタでボート部初優勝。

- 1970 龍谷祭のテーマ〈展望〉  
降誕会のテーマ〈祖師とわたし〉
- 1971 龍谷祭のテーマ〈怒濤乃響〉  
降誕会のテーマ〈永遠の親鸞〉

## LAW ALUMNI ASSN.,

学園紛争のさなか、ゼミナール連合会が結成され、初代議長に増田省三氏選出される。法学部第1回卒業生を送りだすに際し、事業運営を法学部ゼミナール連合会が担当することになった。その活動のなかで、龍谷大学法学部同窓会設立準備委員会を結成、委員長に田畑健氏選出。理事候補の選出、規約案の作成、総会等当面の行事の立案準備に入る。法学部は第78回教授会で大学院法学研究科設置調査委員会を設置、その後大学院法学研究科設立委員会と改称。龍谷大学大学院法学研究科法律学専攻修士課程設置協議書を文部省に提出する。比較法学会、民主主義科学者協会法律部会秋季大会、国際法学会の当番校となる。



学友会館

## HEAD LINES OF 1970

### DOMESTIC

- ①大阪・千里丘陵で日本万国博開催
- ②日米安保条約、自動継続に
- ③赤軍派学生、日航よど号乗っとり事件
- ④三島事件
- ⑤全国に公害続発、深刻な社会問題に

### OVERSEAS

- ①米軍、カンボジアに進攻
- ②中国の国際的地位高まる
- ③中東停戦実現
- ④ナセル・アラブ連合大統領死去
- ⑤ソ連のルナー16・17号月面車成功

## HEAD LINES OF 1971

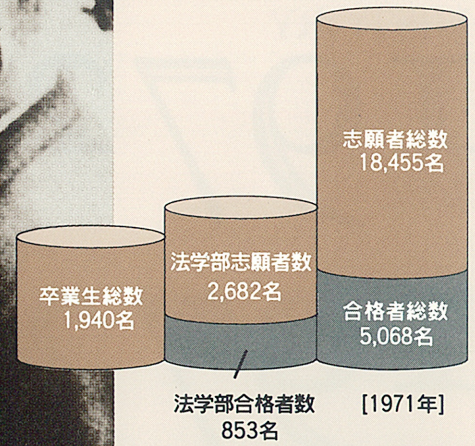
### DOMESTIC

- ①ドル・ショック、円、変動相場制に移行
- ②沖縄返還協定批准の国会承認
- ③雫石町上空で自衛隊機と全日空機衝突
- ④日中国交回復へ各界急傾斜
- ⑤天皇、皇后両陛下ご訪欧

### OVERSEAS

- ①中国の国連登場
- ②米国のドル防衛措置と国際通貨調整
- ③ニクソン大統領の訪中決定
- ④ベトナム秘密文書、全米をゆるがす
- ⑤英国のEC加盟決まる

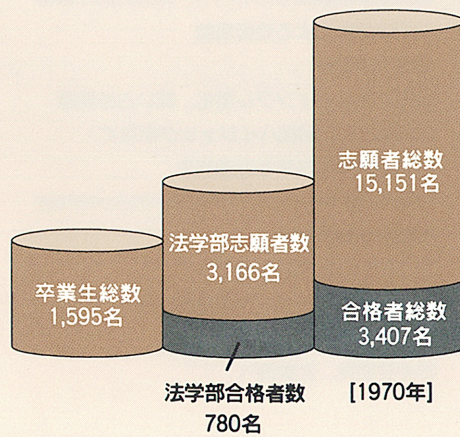
中国の国連登場



深草学舎体育館



ベトナム戦争カンボジアへ拡大



## THE COURSE OF HISTORY

# I 1972

# I 1973



法学部同窓会会報

## RYUKOKU UNIV.

学費値上げの反対運動起こる。その反面、受験者数が2万人を突破。この数字は目に見えて龍大の入試レベルが高くなりはじめ、知名度が上がった結果でもある。しかし、その原因となったのは皮肉にも大学の機能をマヒさせた学園紛争であった。この時期、田中角栄内閣が日本列島改造論をひっさげて登場したが、龍大の改造は深草学舎図書館の竣工により一応の区切りを見せ、文科系総合大学となったその名に恥じない施設の拡充が行なわれた。しかし、それとは逆に西浦男子寮が閉鎖。ひとつの歴史の節目を物語った。昭和48年、創立330周年記念式典開催。10号館跡地、深草図書館の向かいに記念の森がつくられた。

1972 龍谷祭のテーマ〈開眼〉

降誕会のテーマ〈我願親鸞〉

1973 龍谷祭のテーマ〈新しい歴史の創造に学問の力を〉

降誕会のテーマ〈遠慶宿縁〉

## LAW ALUMNI ASSN.,

同窓会第1回総会を昭和47年3月に開催。規約承認、理事選出、祝賀会等を執り行なう。初代会長に準備委員会会長であった田畑健氏を選出。事実上、ここに記念すべき同窓会の第一歩が記された。また、京都を中心に行なっていた無料法律相談を同窓会主催で全国に展開。巡回無料法律相談が実現し、高岡市を皮切りに現在まで連続として受け継がれている。昭和48年には第2回総会、新入会員歓迎祝賀会、第2期入会員名簿発行、同窓会会報創刊号発行、同窓会広島支部(龍真会)結成など現在の同窓会活動の基礎を作り上げる。他に、法学部学生論集出版助成、法窓文庫贈呈。日本公法学会当番校となる。

巡回無料法律相談

昭和47年・高岡市

昭和48年・広島市

巡回無料法律相談



## HEAD LINES OF 1972

### DOMESTIC

- ①田中内閣発足、日中国交正常化
- ②「あさま山荘」連合赤軍事件
- ③沖縄祖国復帰、全国四十七番目の県に
- ④衆院総選挙で共産党躍進
- ⑤グアム島で元日本兵、横井さん救出

### OVERSEAS

- ①ニクソン米大統領訪中、訪ソ
- ②ベトナム和平への動き活発化
- ③ミュンヘン五輪とゲリラ事件
- ④南北朝鮮の対話始まる
- ⑤東西両ドイツ、基本条約に調印

## HEAD LINES OF 1973

### DOMESTIC

- ①石油危機による消費規制
- ②金大中事件
- ③モノ不足とインフレ激化、買い占め問題
- ④日航、KLM機ハイジャック相次ぐ
- ⑤長沼訴訟で自衛隊違憲判決

### OVERSEAS

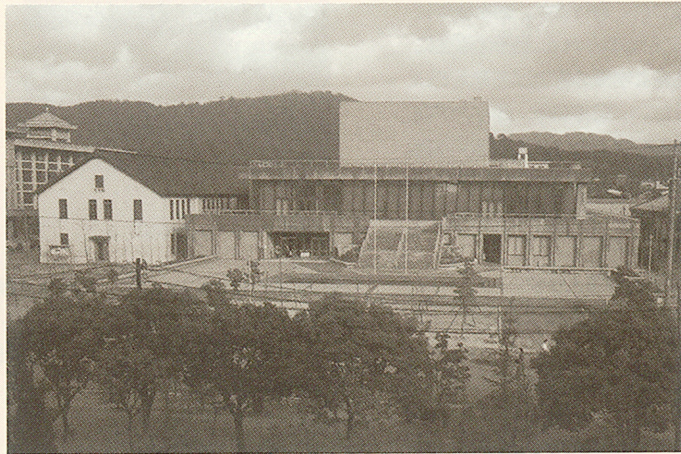
- ①第四次中東戦争
- ②ベトナム和平協定調印
- ③米でウォーターゲート事件起こる
- ④世界的なエネルギー危機
- ⑤主要通貨、変動制へ

米上院のウォーターゲート事件

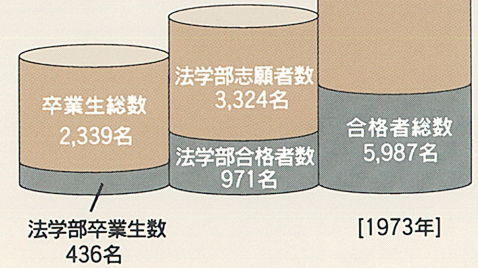


法学部同窓会初代会長  
田畑健氏

深草学舎図書館



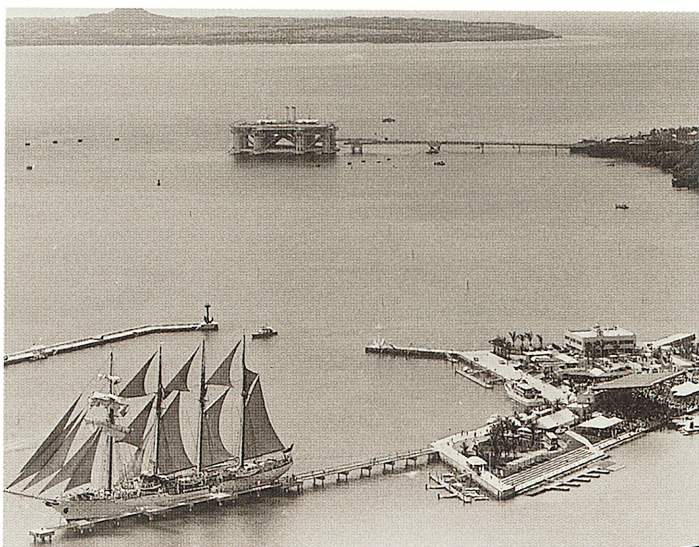
札幌五輪冬季大会、鳥人ブーム



# THE COURSE OF HISTORY

# I 1974

# I 1975



沖縄海洋博覧会開催

## RYUKOKU UNIV.

新规定による学長選挙が実施され、昭和49年11月から再び学長不在の時期が訪れる。千葉乗隆、中川浩文の両氏が学長事務取扱に。昭和50年に入り、大宮学舎西側、食堂や購買店を設けた清和館が竣工し、龍大12年計画が発表された。その骨子は国庫助成金の大幅増額と授業料へのスライド制適用によって財源を確保し、学生の入学人員の漸減と教員増をはかり、12年後には国公立大学なみの教学条件を整えようとするもの。この12年計画は何度か見直しが行なわれて遂行され、昭和62年に第2次長期計画に引き継がれる。当時の学生にはこれを機に急激な学費の値上げを覚えているものが少なくない。昭和49年、龍谷大学教授団靖国法案即時撤回を要求する声明を発表。昭和50年、経済学部で推薦入学試験を実施。

1974 龍谷祭のテーマ〈流れるときの中で〉

降誕会のテーマ

〈現代社会における人生観〉

1975 龍谷祭のテーマ〈転生の時を刻め〉

降誕会のテーマ

〈混沌たる現代の闇を斬れ〉

## LAW ALUMNI ASSN.,

第3回総会で同窓会第2代会長に増田省三氏選出。会則一部改正、理事改選。新入会員歓迎祝賀会、同窓会会報発行、法学部学生論集出版助成、法窓文庫贈呈。同窓会名簿管理、電算化を実施、同窓会徳島支部結成。法学部では、大学院法学研究科法律学専攻博士課程開設、日本国際政治学会の当番校となる。谷口知平教授図書館長に就任。

巡回無料法律相談

昭和49年・鹿児島市、広島市

昭和50年・札幌市、徳島市

## 就職難時代



## HEAD LINES OF 1974

### DOMESTIC

- ①田中首相の「金脈退陣」三木政権誕生
- ②日米修好史上初、フォード米大統領来日
- ③参議院選挙で保革伯仲
- ④公共料金続々値上げ、インフレ加速
- ⑤三井、三菱などで無差別テロ爆破事件

### OVERSEAS

- ①ニクソン米大統領辞任
- ②国際経済、インフレと不況で危機
- ③食糧、資源で国際会議しきり
- ④英、仏、独、伊で政権交替
- ⑤シンガポール、オランダで日本人ゲリラ

## HEAD LINES OF 1975

### DOMESTIC

- ①景気低迷。興人、大型倒産。就職難時代
- ②公労協が長期スト権スト
- ③企業収益の悪化等で国も地方も財政危機
- ④天皇、皇后両陛下初のご訪米
- ⑤保革伯仲国会で重要法案難航

### OVERSEAS

- ①インドシナ戦争終わる
- ②六ヶ国首脳がランブイエ宣言
- ③スエズ運河再開
- ④初の全欧安保首脳会議開く
- ⑤OPECが石油10%値上げ

DRAGONS

# ミスターE 栄光の背番号3

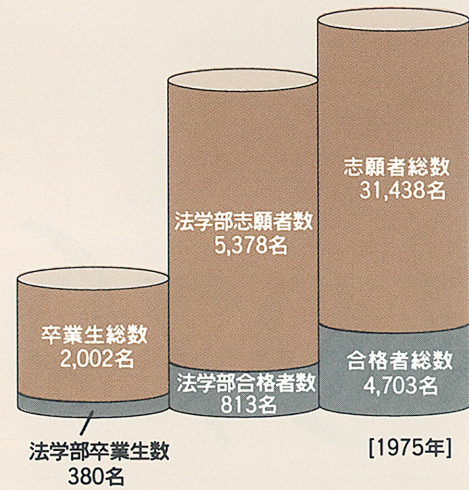
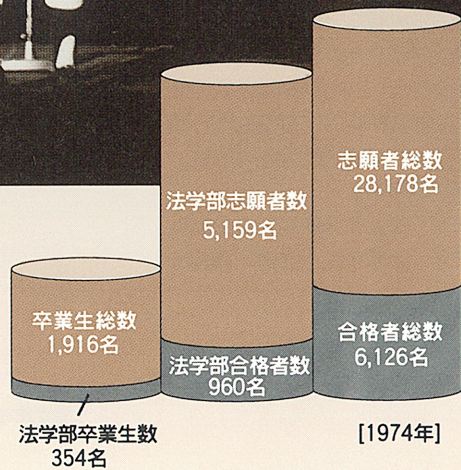
7	藤	波	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E
4	西	田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1
8	井	手	0	0	2	5	1	1	1	0	x	10	13	0	
5	大	島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	広	野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1	佐	藤	0	0	2	5	1	1	1	0	x	10	13	0	
9	大	隅	0	0	2	5	1	1	1	0	x	10	13	0	
6	三	好	0	0	2	5	1	1	1	0	x	10	13	0	
2	金	山	0	0	2	5	1	1	1	0	x	10	13	0	

12345678910 R H E  
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 4 1  
0 0 2 5 1 1 1 0 x 10 13 0  
S B O

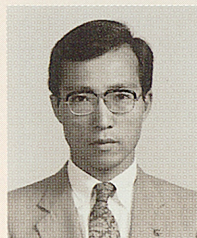
丸松 横 川 中 木  
18 富 田 錦  
28 田 中  
36 錦 木

Av 244 H= 15

ジャイアンツ・長島選手現役引退



大宮学舎西翼・清和館



法学部同窓会第2代会長  
増田省三氏



# THE COURSE OF HISTORY

# I 1976

# I 1977



深草学舎紫朋館

## RYUKOKU UNIV.

昭和51年、大宮学舎正門改修。校友会に属するクラブのために深草学舎に、ボックス会館である紫朋館が学友会館の隣に竣工。旧南寮およびプレハブのサークルボックスが廃止された。受験生が3万人を突破し、龍谷大学にも、他に洩れず偏差値万能の波が押し寄せる。何かをするため、何かを見つけるためではなく、社会に対してモラトリアム状態に留まるための一つの手段として大学を選んでいる学生が増えていった。そのアンチ偏差値、アンチモラトリアム学生的なノリで龍大OBが描く「嗚呼／花の応援団」が生まれ「クエックエツ」が流行ったのもこの頃であった。昭和52年、特別研修講座、国際交流委員会発足、第1回「龍谷講座」開講。

- 1976 龍谷祭のテーマ〈時が僕たちを追い越しちゃった？[凝視めよう、今この時を]〉  
降誕会のテーマ〈闇からの飛翔〉
- 1977 龍谷祭のテーマ〈模索は始まっている… [彼方にあるものを求めて]〉  
降誕会のテーマ  
〈はばたけ親鸞と共に!!〉

## LAW ALUMNI ASSN.,

第5回総会で同窓会第3代会長に下岡周之氏選出。法学部設立10周年にあたり法学部と協力し、龍谷法学記念論文集刊行・「法学部10周年の歩み」刊行・設立10周年祝賀会・記念植樹等の記念事業を実施。また、昭和52年度より学部の対外的活動と在学生の勉学向上に役立つものへの援助として法窓助育費を計上。巡回無料法律相談、学生論集、司法科設置に伴う備品等の援助申し出に対し65万円の支出を決定した。昭和52年同窓会主催第1回海外旅行(香港)実施。山口支部結成。谷口知平教授、日本学士院会員に選出される巡回無料法律相談

昭和51年・松山市、徳島市、小松島市  
昭和52年・新南陽市、山口市、亀岡市



同窓会主催海外旅行

## HEAD LINES OF 1976

### DOMESTIC

- ①ロッキード事件、田中元首相ら逮捕
- ②総選挙で自民・共産敗北、中道進出
- ③函館空港に強行着陸。ミグ25亡命事件
- ④鬼頭判事補二セ電話事件。罷免判決
- ⑤自民党内で政権抗争、三木首相退陣

### OVERSEAS

- ①毛・周死去、中国で政変
- ②米大統領にカーター氏就任
- ③専管水域200カイリ時代へ
- ④米多国籍企業のワイロ商法、世界に波及
- ⑤米バイキング1・2号、火星に軟着陸

## HEAD LINES OF 1977

### DOMESTIC

- ①円高240円の大打撃、影響深刻
- ②日本赤軍日航機ハイジャック事件
- ③200カイリ本番、日ソ漁業交渉難航
- ④社会党内紛、江田、田氏らの離党
- ⑤参院選、与野党逆転ならず

### OVERSEAS

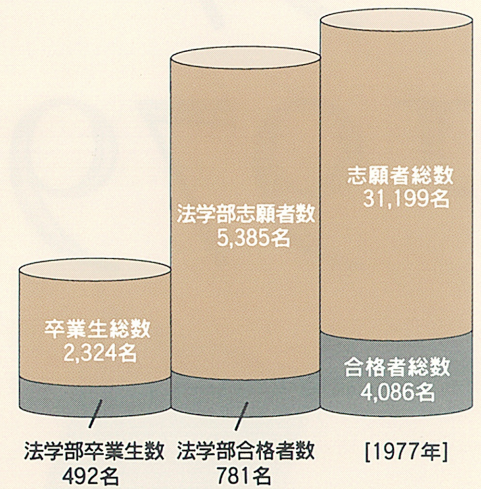
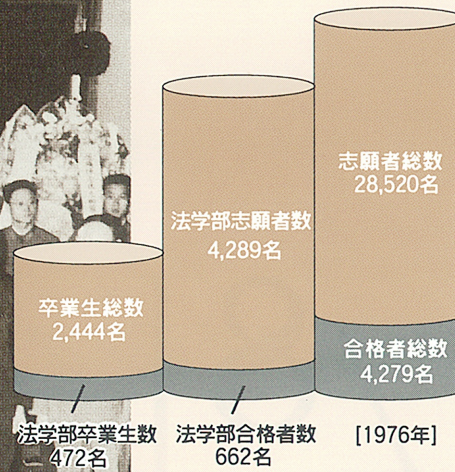
- ①サダト大統領、イスラエル訪問
- ②鄧小平再復活、華国鋒路線固まる
- ③西ドイツ赤軍事件
- ④カーター大統領、人権、核など新政策
- ⑤米議会で韓国の黒い霧追及



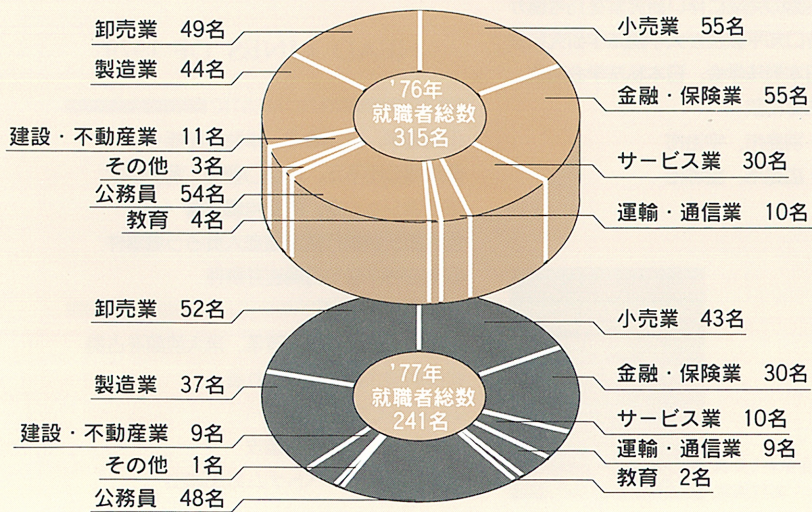
法学部同窓会第3代会長  
下岡周之氏



毛沢東主席が死去



[法学部卒業生業種別就職状況]



青酸ナトリウム殺人事件

# THE COURSE OF HISTORY

# I 1978

# I 1979



法学部同窓会誌

## RYUKOKU UNIV.

“サーファー”という新しいファッションの始まり。2年の歳月と約18億円をかけての紫英館の完成。無気力・無関心・無責任の三無主義。インベーダーゲームに熱中し、サントリーオールドが学生にとって身近なウイスキーになりつつあった。昭和54年、学友会に転機が訪れる。6月20日、全学生大会が出席者2288名を集めて体育館で行なわれた。その結果、昭和49年以来続いた「二つの学友会」が実質的に統合された。昭和53年国際交流委員会による国際セミナー開催。昭和54年、社会学研究所発足10周年を記念して「社会科学研究叢書」が創刊。カナダのカルガリ大学、アメリカのカリフォルニア大学サンタ・バーバラ校、パシフィック大学、ハワイ大学マノア校の4大学と学生交換協定を結ぶ。

- 1978 龍谷祭のテーマ〈敢然燃焼〉  
降誕会のテーマ  
〈虚心坦懐〜わが道をゆく〉
- 1979 龍谷祭のテーマ〈勇往邁進〉  
降誕会のテーマ〈無碍の一道〉

## LAW ALUMNI ASSN.,

第7回総会で同窓会第4代会長に北村実氏選出。会則一部改正、理事改選。新入会員歓迎祝賀会、同窓会会報発行、法学部学生論集出版助成、法窓文庫贈呈。同窓会主催第2回海外旅行(ヨーロッパ)・第3回海外旅行(ハワイ)実施。龍谷大学法学部同窓会誌創刊。法学部では、紫英館の完成に伴い研究室を15号館から移転。谷口知平教授が大学院法学研究科長に就任。日本刑法学会、日本私法学会開催。巡回無料法律相談

- 昭和53年・羽島市、宇治市  
昭和54年・広島市、宝塚市



法学部同窓会第4代会長  
北村実氏

深草学舎紫英館



## HEAD LINES OF 1978

### DOMESTIC

- ①日中平和条約締結、日中ブーム起こる
- ②自民総裁選で福田氏破れ大平政権誕生
- ③京都府知事に林田氏。革新府政に終止符
- ④円急騰、1ドル=180円を突破
- ⑤山口組組長狙撃、暴力団抗争激化

### OVERSEAS

- ①米中、国交正常化の共同声明発表
- ②中国近代化路線、文革再評価も
- ③エジプト、イスラエル単独和平交渉
- ④英で体外受精児誕生
- ⑤イランで反政府運動広がる

## HEAD LINES OF 1979

### DOMESTIC

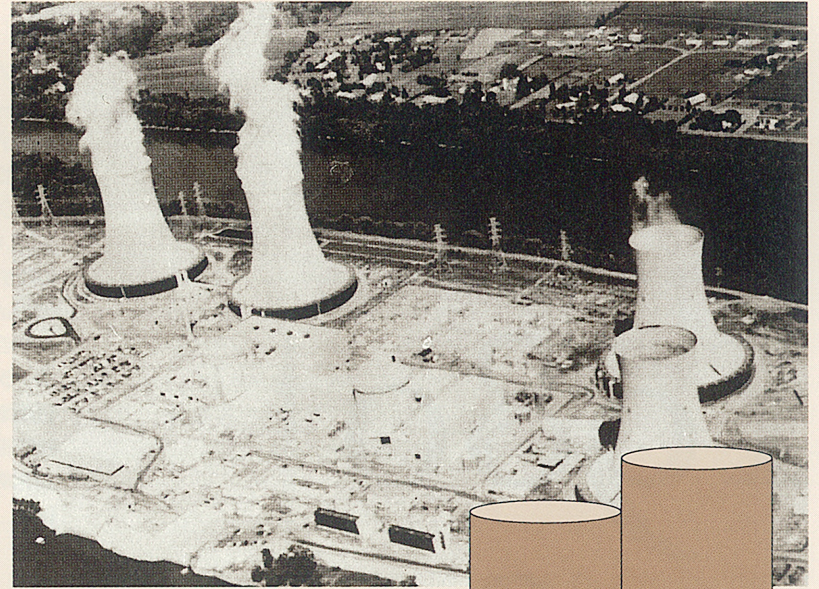
- ①総選挙、自民敗北。単独支配揺らぐ
- ②鉄建公団不正、KDD密輸・乱脈拡大
- ③石油ショック、円安物価高騰
- ④大阪三菱銀行猟銃強盗人質ろう城事件
- ⑤航空機疑惑で日商岩井事件

### OVERSEAS

- ①イランでイスラム改革、米大使館を占拠
- ②朴韓国大統領射殺される
- ③OPEC値上げ攻勢
- ④中国、ベトナムへ侵攻
- ⑤カンボジア、ベトナム難民流出



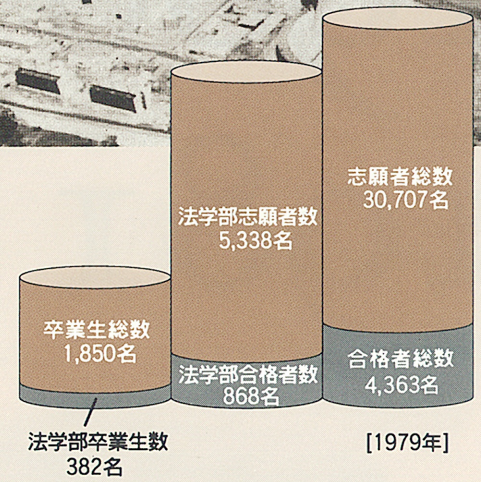
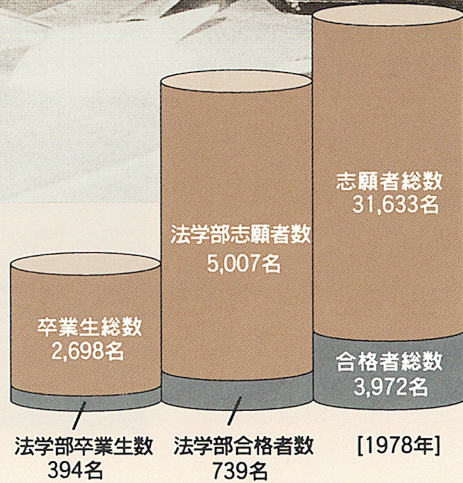
龍谷レガッタ



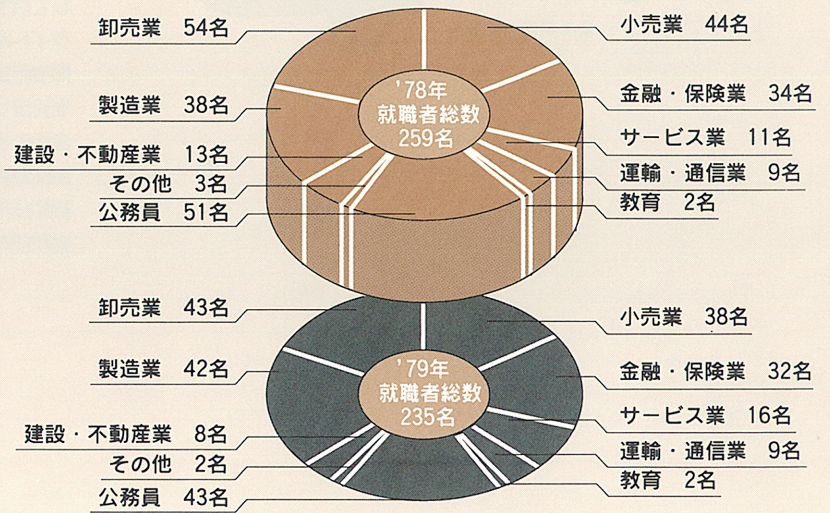
米スリーマイル島原発事故



江川問題でドラフト論争



[法学部卒業生業種別就職状況]



# THE COURSE OF HISTORY

# 1980

# 1981



身障者用自動車

## RYUKOKU UNIV.

講義ノートのコピー化が普及。例年に比べ、コピー量が2倍に増え、以後試験対策にこの方法が定着。それに反し、学生の麻雀離れが。昭和49年より開始された龍谷大学12年計画により龍大生の記憶から徐々に消え去ろうとしているものも。「城陽グラウンド」、その傍のどかな田園地帯に立つ4階建ての、かつては250名が住んでいた「男子寮」、未公認サークルの活動の場であった「9号館」。昭和55年、ポーランドのワルシャワ計画統計大学と交換研究員協定を結ぶ。第1回スポーツ総合定期戦開催。昭和56年、仏教文化研究所20周年記念講演会開催。経済学部20周年記念式典開かれる。

- 1980 龍谷祭のテーマ〈飛龍猛進  
[龍とびあ、80in深草]〉  
降誕会のテーマ〈親鸞に還れ〉
- 1981 龍谷祭のテーマ  
〈心に熱い何かを持つ時〉  
降誕会のテーマ〈我願見真〉

## LAW ALUMNI ASSN.,

第9回総会で同窓会第5代会長に下岡周之氏選出。同窓会結成10周年を迎え、通常事業に加え記念事業を開催。深草学舎学友会館ホールにて、「映画で観る法学教室」と題した映画会をはじめ、祝賀会、10周年記念海外旅行(アメリカ西海岸)、10周年記念特集会誌の発行を行なう。さらに、対外的、対社会的活動として点字六法(全約20巻)を2部作成し、京都ライトハウスと龍大図書館に寄贈。また、身障者用自動車を京都市に贈る。盲目のハンデを克服し、1974年卒の竹下義樹氏、司法試験合格の快挙。

巡回無料法律相談

昭和55年・城陽市、徳島市

昭和56年・福井市、宇治市

## HEAD LINES OF 1980

### DOMESTIC

- ①衆参両院同日選挙で自民党圧勝
- ②大平首相急死、鈴木内閣発足
- ③異常冷夏で凶作、戦後2番目の不作
- ④静岡の地下街ガス爆発大惨事
- ⑤乱診乱療の富士見病院事件

### OVERSEAS

- ①ソ連、アフガンに侵攻、西側は制裁措置
- ②米大統領にレーガン氏就任
- ③イラン・イラク戦争起こる
- ④韓国で光州暴動、全斗煥体制確立
- ⑤モスクワ五輪、西側諸国ボイコット

## HEAD LINES OF 1981

### DOMESTIC

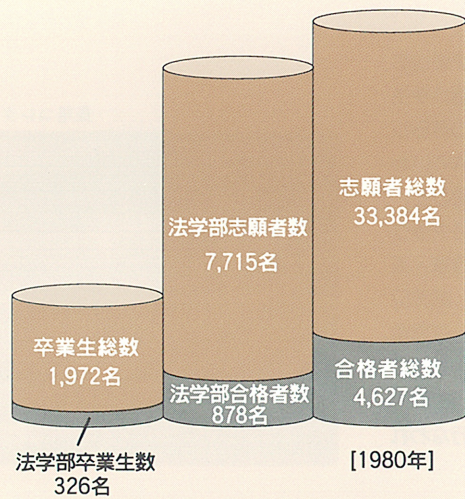
- ①第二臨調一次答申、行革法成立
- ②北炭夕張新鉱ガス突出、93人が犠牲に
- ③小佐野に実刑判決、榎本三恵子さん発言
- ④ライシャワー発言で核持ち込み疑惑
- ⑤京大福井謙一教授ノーベル化学賞受賞

### OVERSEAS

- ①サダト・エジプト大統領暗殺
- ②ポーランドに軍政
- ③レーガン政権発足、強硬路線
- ④フランス大統領にミッテラン氏就任
- ⑤米国、宇宙連絡船コロンビアの飛行成功

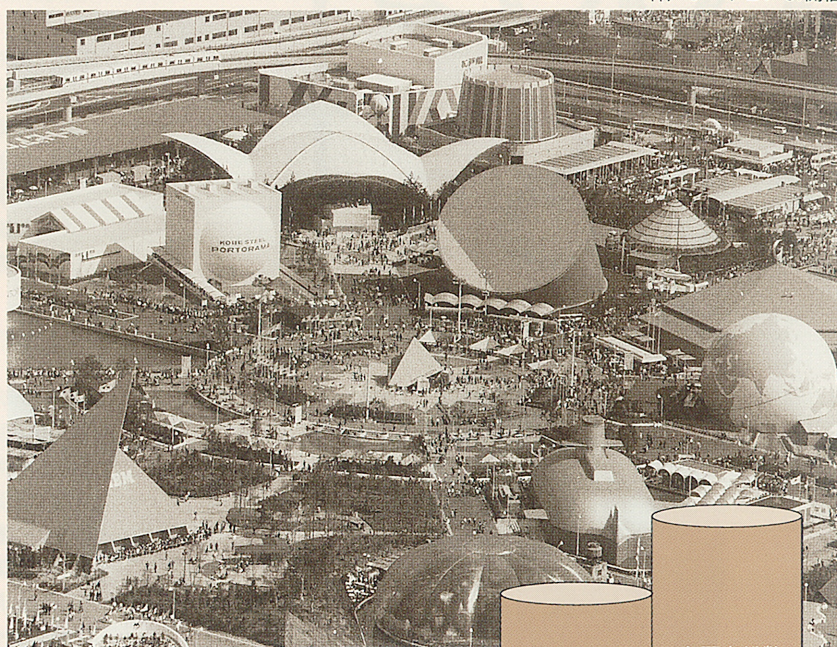
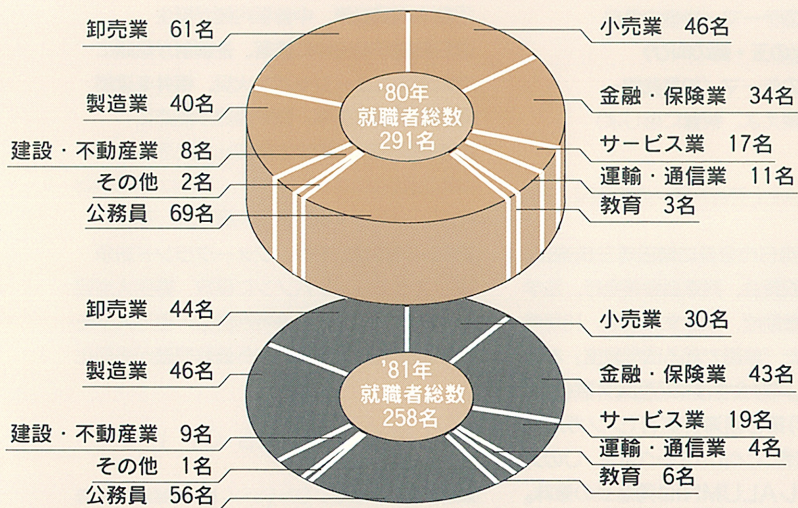


法学部同窓会10周年記念式典



モスクワ五輪、日本不参加

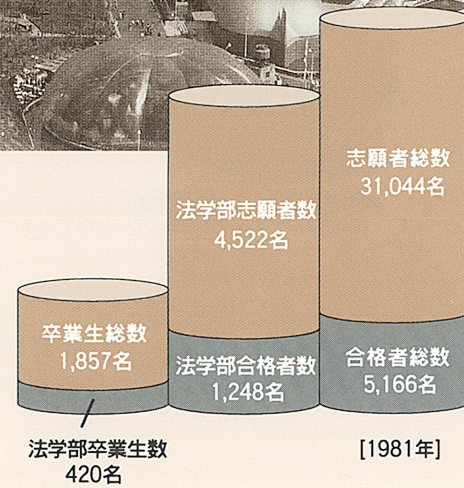
[法学部卒業生業種別就職状況]



神戸ポートピア'81開催



第60回降誕会提灯行列



[1981年]

# THE COURSE OF HISTORY

## I 1982

## II 1983



法学部同窓会シンボルマーク

## RYUKOKU UNIV.

下宿生活が高級化。吉田拓郎やかぐや姫は影を潜め、代わって山下達郎や佐野元春が学生の人気を集め、カフェ・バーが学生の暮らしを彩りはじめた。ムーミン館と呼ばれていた大宮学舎の「白亜館」の取り壊し。そして、深草学舎から6.5kmの地点に「南大日グラウンド」が完成。若い学生に混じり、作家・五木寛之氏が聴講生として席を並べた。昭和57年、大学院経済学研究科・修士課程、経営学研究科・修士課程を開設。昭和58年、社史の集大成「長尾コレクション」を取得。第1回海外英語研修講座ハワイ夏期集中講義行なわれる。

- 1982 龍谷祭のテーマ〈熱烈・熱涙・響けよ永遠に〉  
降誕会のテーマ〈風雪の御跡〉
- 1983 龍谷祭のテーマ〈無極の祭典 8,000火の玉・龍の叫び〉  
降誕会のテーマ〈如是我聞～親鸞に集えよ、親鸞に感じよ〉

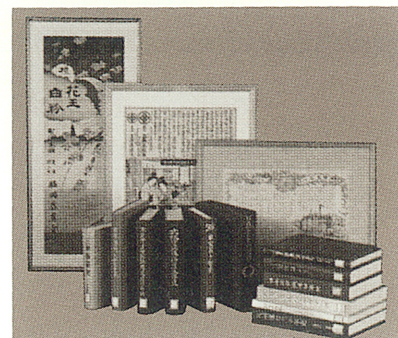
## LAW ALUMNI ASSN.,

第11回総会で第6代会長に増田省三氏選出。新入会員歓迎祝賀会、同窓会会報発行、法学部学生論集出版助成、法窓文庫贈呈。10周年記念で開催した「映画で観る法学教室」を好評につき継続。同窓会主催第5回海外旅行(アメリカ西海岸)第6回海外旅行(シンガポール)実施。同窓会シンボルマーク誕生、Jの文字をデザインしALUMNIは同窓会の意味。記念品としてカフスポタンを作成。1976年卒の山口芳子さん、龍大初の女性司法試験合格。巡回無料法律相談  
昭和57年・福山市、宇治田原町  
昭和58年・徳島市、宇治市



南大日グラウンド

長尾コレクション



## HEAD LINES OF 1982

### DOMESTIC

- ①鈴木内閣退陣、中曽根内閣が誕生
- ②日航機が羽田沖に墜落、逆噴射が話題に
- ③ホテルニュージャパン火災、横井を逮捕
- ④臨調が基本答申、国鉄再建が焦点に
- ⑤参院全国区に拘束名簿式比例代表制導入

### OVERSEAS

- ①ブレジネフ・ソ連共産党書記長、死去
- ②英・アルゼンチン、フォークランド紛争
- ③イスラエル、レバノンに侵攻、難民大虐殺
- ④反核・軍縮訴え国連特別総会へ百万人デモ
- ⑤不況深刻、失業者、対外債務問題が表面化

## HEAD LINES OF 1983

### DOMESTIC

- ①田中元首相に懲役4年の実刑判決
- ②年末総選挙で自民大敗、保革伯仲
- ③日本海中部地震M7.7、東北に大被害
- ④免田さんに無罪判決、34年ぶりの自由
- ⑤日本初の体外受精児誕生

### OVERSEAS

- ①大韓航空機サハリン沖で撃墜
- ②ラングーンで韓国要人爆殺テロ
- ③アキノ氏マニラ空港で暗殺される
- ④レバノン戦争激化、米軍介入深める
- ⑤欧州ミサイル配備で東西対立激化